

白石市議会一般会議報告書

令和 2年 2月13日

白石市議会議長 小川 正人 殿

対応委員会 政策企画調整会議

委員長 佐藤 秀行

白石市議会一般会議開催要領の規定に基づき、次のとおり報告書を提出します。

開催日時	令和 2年 1月29日（水） 13時30分 ～ 16時30分		
開催場所	白石市役所 4階 大会議室		
出席議員	小川 正人 議長	佐藤 秀行	佐藤 龍彦
	伊藤 勝美	保科 善一郎	佐久間 儀郎
	四竈 英夫	菊地 忠久	松野 久郎
	澁谷 政義	大野 栄光	沼倉 啓介
	高橋 鈍斎	平間 知一	高子 秀明
	森 建人	角張 一郎	
参加団体名	スパッシュランド「友の会」		
参加人数	白石市議会	17人	(男 17人:女 0人)
	スパッシュランド「友の会」	9人	(男 7人:女 2人)
傍聴人数	18人 (男 11人:女 7人)		
会議の議題	スパッシュランドしろいしに関する事項について ①12月1日市長提案の方針について ②公共施設等総合管理計画と劣化診断について ③スパッシュランド「友の会」の提案について		
(意見交換の内容)			
別紙のとおり			

※質疑応答や意見交換の詳細については、別紙に記載してください。

① 12月1日市長提案の方針について

◎ 12月1日市長提案の方針の疑問点等について

説明・質問等：「友の会」山下孝明氏

- ・市長は、市民の意見を聞くとしていますが、具体的な行動が見えません。
- ・市は、大規模修繕工事には13億円かかる、維持するためには、さらに費用がかかるとしていますが、明確な試算はあるのでしょうか。金額だけが一人歩きしているのではないのでしょうか。
- ・市は、市の基金の残りが約13億円まで減少していることを挙げていますが、関連性が弱いです。
- ・市民の健康促進の場として活用されてきたとして、重要性を認識しているとの指摘は大切です。
- ・市は、国の補助事業も検討したとしていますが、具体的な経過内容がありません。様々な部署に探させた（相談した）としていますが、具体的内容はあるのでしょうか。
- ・市は、国会議員に要望しているとしていますが、具体的内容がありません。ありとあらゆる手を尽くしたとしていますが、具体的に何をしたのでしょうか。
- ・市は、民間の力を借りるとしていますが、具体的方策が見えません。
- ・市民にいち早く伝えるのが市長の責務として、休館の予定を突然発表しましたが、理由が明白ではありません。

◎各議員それぞれの意見について

説明・答弁等：各議員

- ・市は、利用者との話し合いが希薄、一方的で、意見の交換がありません。
- ・優良な施設ですので、前向きに利用料金を含めて活用方法を考えるべきです。
- ・苦渋の判断であることは理解しますが、総合的に判断すべきです。
- ・継続が厳しい状況ですので、市長の判断は間違っていないと思いますが、結論は性急でした。
- ・現状維持は難しいですが、スリム化してでも存続させる方策を考えるべきです。
- ・妥当な判断と思いますが、性急です。
- ・民間委託を含めて、管理方式を検討する必要があります。
- ・継続するためには、施設の利用者を増やす方策が必要です。
- ・13億円の修繕費が必要だとすれば、休館の判断も止むを得ません。

- ・拙速に結論を出すのではなく、利用者との協調、または隣接自治体との連携等も検討して存続させる方法を探究すべきです。
- ・市民との対話が不足しています。利用者と協同して方策を考えるべきです。
- ・財政は厳しい状況ですが、市は事前の協議が必要でした。
- ・財政が厳しいのは分かりますが、施設の役割を前向きに検討すべきです。
- ・突然の休館は、市民に対して説得力がありません。事後承諾になっています。
- ・市民の共有財産であるので、将来の展望を考えて、民間への無償譲渡を含めた大胆な発想での改善策が必要です。
- ・突然の閉館発表で驚いています。存続の方策を模索する必要があります。

◎休館を決定した場合について

説明・質問等：「友の会」鈴木恵美氏

- ・休館した場合の施設の保全はどうするのでしょうか。
- ・休館でなく放置にならないのでしょうか。
- ・地元（小原地区）の理解を得られているのでしょうか。
- ・小原温泉を中心とした観光資源の衰退につながらないのでしょうか。

②公共施設等総合管理計画と劣化診断について

説明・質問等：「友の会」佐々木俊一氏

・1点目です。平成27年に市は「公共施設総合管理計画」をつくりましたが、劣化診断のうえ調査結果をもとに工事を実施すると言っています。公共施設総合管理計画に照らしてみれば、実際やろうとすることが市は間違っています。計画どおりにやっていません。

・2点目です。今回、建設当初の年間入館目標者数は、8万人ということが分かりました。市は、平成6年度がピーク年度で、13万7千907人の利用者としており、これを基準にして、平成30年度の利用人数5万434人をピーク時比36.6%としています。このような算出の仕方はおかしいです。算出の方法は、年間目標者数を分母におくべきであって、そうすると利用率は63.0%になり、2倍近くの利用率になります。

これまで20年間余りで、利用者数は200万人を超えています。平成30年度のスパッシュランド利用5万人超過は、市のインバウンドに大きく貢献していると思います。

・3点目です。公開質問状で、市は大規模改修を行うという回答でした。「助成金」は文部科学省、国土交通省、経済産業省、スポーツ振興くじなどがありますが、市は助成金を考えて、申請していません、意欲が感じられません。どうしてなのかと尋ねたい。

説明・答弁等：松野久郎議員

・施設の評価にはA、B、C、D評価があります。A評価、B評価、C評価までは、施設を少しずつ直していこうとしています。D評価では、もう修繕ができず、長寿命化は難しいとしています。スパッシュランドがそうだというのではなく、全般的なことを申し上げます。

説明・質問等：「友の会」佐々木俊一氏

・スパッシュランドを設計した仙台市の設計者を訪問して尋ねたところ、スパッシュランドの耐用年数は50年と言っています。骨組み等は頑丈であるから、まだまだ施設利用できると言っています。

説明・質問等：「友の会」山下孝明氏

- ・設計者は、スパッシュランドは施設として見守る程度で十分と言っています。ところが今回、市では、2022、2023年度に集中して修繕を試算していますが、この点の説明は市長からなされていません。行政責任者としての判断であっても市民との合意は大事なことです。
- ・お金がかかるとの説明一方では、無責任な判断です。施設として猶予がある間にやるべき事があるのではないのでしょうか。

説明・質問等：「友の会」早坂訓政氏

- ・私は、電気設備が専門だったのですが、市で出した12年間の平均修繕・更新費用1億1千456万8千円/年の算出書を見て不自然だと思います。
- ・劣化診断は、一般的には「見積り3社、1社購買」が基本と言われています。普通は、最低3社以上から見積りを取りますが、今回は1社です。分類別修繕、更新費用について、分類別に全く同じ金額が2回、3回と出てきます。例を挙げると、空調という分類では、空調機が7千552万円、全熱交換機も同額、配管も同じ、ダクトも同じ。同じ金額が4回登場します。こういう見積りは普通あり得ません。
- ・エレベーターを見ると3基で9千万円。市が「スパッシュランドの今後について」で採用した金額は、他社のものを採用しています。その金額は、5千347万円。2社見積りを取れば、ちゃんと比較して安い方を採用しています。これでも高い金額ですが。
- ・現在、最も必要とされている修繕箇所として、キュービクル内の高圧受電設備3台で、見積額が632万円となっています。この2つを「建設物価本」を使用して試算検討して見ると、「屋外キュービクル」は、市の試算632万円については、実際は258万円余で済みます。
- 「キュービクル関連更新材料」の高圧ケーブル、端末処理材、ほかの資材と人件費等で198万円、合計450万円余。市の見積り3千776万円との差額は、3千万円もあります。どう理解すればいいのでしょうか。

説明・質問等：「友の会」山下孝明氏

- ・設計事務所に電話してみたところ、市役所からは何も照会がないとの返事でした。財政課・企画情報課での内部検討だけで、建設当時に関わった業者に全く問い合わせをしていません。市役所内部でも議論されていません。
- ・企画情報課はスパッシュランドを応援して欲しいです。市民の声を集めるのが、市役所の仕事だと思います。

③スパッシュランド「友の会」の提案について

◎提案の概要について

説明・質問等：「友の会」佐々木由美子氏

- ・夏休みシーズンは、予約が取れないほど子ども会の利用が多く、翌年の予約を入れて帰るほどでした。売り上げが減った時、一般の企業なら戦略を練り、売り上げを伸ばそうと企業努力するはずですが、財団は何をしてきたのか。今まで、何もしてこなかったツケが、今になって回ってきたのではないですか。
- ・一番大変なのは、スパッシュランドの職員ではないですか。人数が少ない。財団のトップはもっとしっかりしてもらいたい。それを管理する市が、もっと責任を果たしてもらいたい。
- ・合宿で長くスパッシュランドを使ってもらっている方もいます。オリンピックメダリストもいます。50メートルプールは他になかなかない、良い施設です。

説明・答弁等：角張一郎議員

- ・かつて財団にいた身として、責任の一端は感じています。個人利用を増やすのは難しかった。努力も足りなかった。年間利用者数が約5万人となっていますが、デイサービスの利用がかなりカウントされています。
- ・利用者を増やすことが課題でした。震災後は、一時的に子ども会の利用も多かったが、継続的に来てくれなかった。スパッシュランドは、「泳ぐ」プールであって「遊ぶ」プールではなかったためです。
- ・合宿について、次回の予約をしてもらいますが、日程や人数が確定していないので、他の団体の受け入れをしにくい問題がありました。

説明・質問等：「友の会」山下孝明氏

- ・「スパ活性化案」は私案が核になっており、会の総意ではありません。そこには、プールを自由に使えるよう工夫するようにも記載しました。会費も上げるだけが能ではありませんが、協力するという人は多くいます。できることはやらなければ財団は変わらないので、この案をぜひ活用してもらいたい。
- ・基本は人です。人づくりにお金をかけてこなかった。研修で他の施設へ行き、それぞれのプログラム等を見ること。楽しい企画があれば人は集まります。職員が足りない。人がいればもっと違ったことになります、遅くはありません。
- ・年始など、人が来るときになぜ休館するのか。職員は、交代して休みはとれます。役所と同じように休んだら、人が来ないのは当たり前です。

◎財団職員への説明について

説明・質問等：「友の会」山下孝明氏

・財団職員へ休館について、話がされていないのではないですか。雇用につながる問題でもあり、職員に説明をするのが一番大事なことでしょう。

◎スパッシュランドの財政について

説明・質問等：「友の会」山下孝明氏

・お金に関する資料（財団やスパッシュランドの収支等）がありますが、それについては今後の研究課題です。ただ、「財団の運営方針、経営方針がない」ということだけはわかりました。よって、「予算の策定方針もない」こともわかりました。収支予測、長期見通しもあります。

・当時の市長は、たくさんの施設をつくり、素敵な文化を市民に享受してもらいたいと思いましたが、作った後のことは考えていなかった。場当たりのな予算編成を行ってきた。チェックしなかった市議会議員の問題もあります。

・財団には基金があります。財源がないのではない。そこを考えたうえで13億円の話をするならいいです。考えなしで市長のために13億円と言ったのであれば、市長のためにもならない。

・施設がもっともつように考えてほしい。自分も必死で取り組んでいます、今のところ自分がこければ、友の会もこけます。

◎修繕見積もりについて

説明・質問等：「友の会」菅野政英氏

・あの施設をどうやって目視で点検できるのか、不思議でなりません。もう一度検討して欲しい。13億円もかかるのはおかしい。市は、公的に金額を示したのだから責任を取るべきです。

説明・質問等：「友の会」山下孝明氏

・目視できる会社に依頼し、目視でわかる範囲できちんと報告しています。そこはその通りだと思っていますが、13億円の部分と修繕時期については、疑問です。問題は、建設時の設計者と施行者に劣化診断やメンテナンスの相談をしていないことです。

◎その他の質疑について

説明・質問等：小川正人議長

・プールに温泉を入れたら水質が変わりますが、競技上、問題はないのですか。

説明・答弁等：「友の会」 山下孝明氏
・問題ありません。